

平成27年2月27日
 独立行政法人福祉医療機構
 医療貸付部長 浅村 保
 医療業務課長 並木 哲也
 (電話) 03-3438-9293
 (FAX) 03-3438-0659

平成26年度 病院の施設整備動向アンケート調査の結果について（概要）

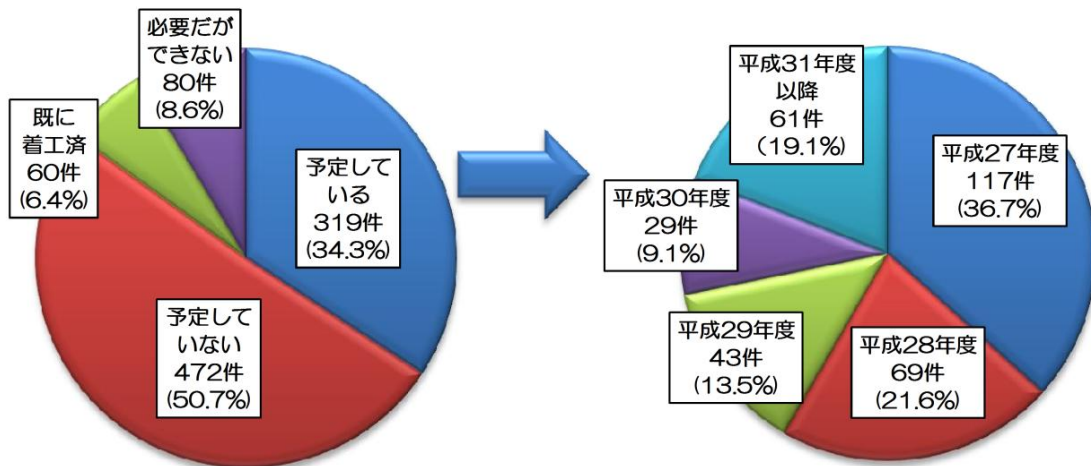
独立行政法人福祉医療機構では、医療関係施設等の資金需要に関する基礎資料として、毎年、全国の民間病院に対して施設整備動向アンケート調査を行っています。
 今年度は、次のとおり実施しました。

実施期間	平成27年1月7日から1月16日
対象	6,295施設 全国の福祉医療機構の融資の対象となる病院（沖縄県を除く）
回答	931件／有効回答率14.8%（前年度 938件／有効回答率14.3%） アンケート依頼を郵送し、福祉医療機構のホームページに設けた専用サイトから無記名による自由回答

機構ホームページ（[「病院の施設整備動向アンケート調査」にかかる調査結果について](#)）にも詳細を掲載していますので、ご参照ください。

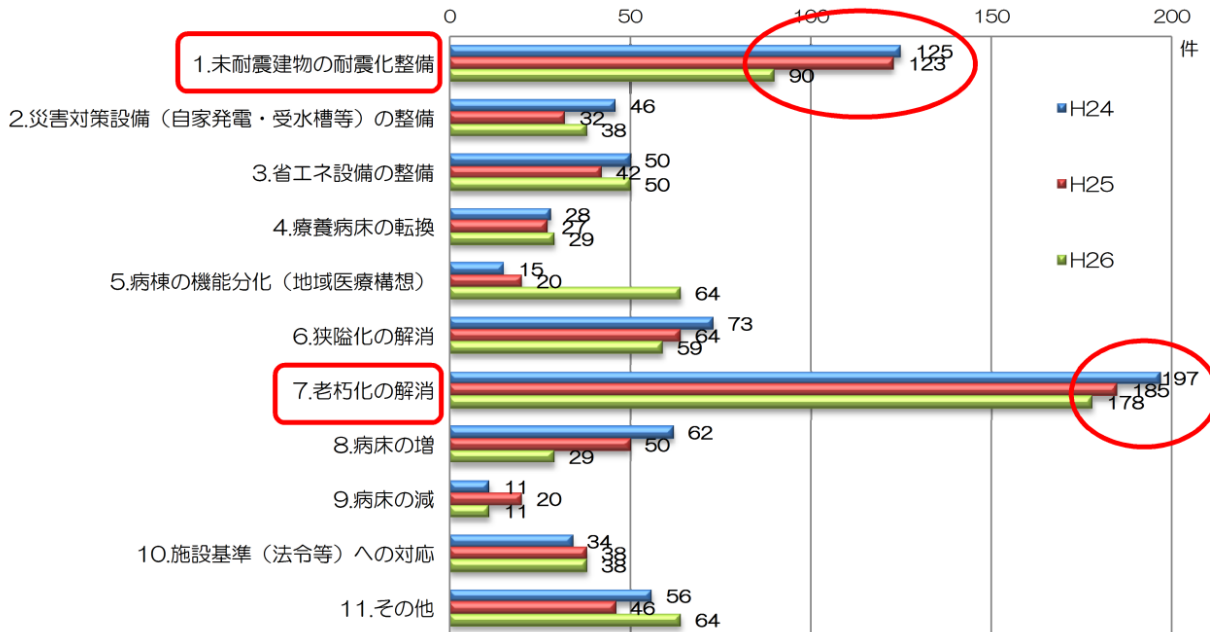
今後の施設整備計画

今後5年間で施設整備を予定している病院は319施設（全体の34.3%）、予定していない病院は472施設（全体の50.7%）でした。施設整備を予定している病院のうち、今後3年以内の着工予定は229施設（予定している病院の71.8%）となっています。
 一方で、整備が必要だが出来ないと回答した病院が80施設（全体の8.6%）ありました。



整備計画の目的（複数回答）

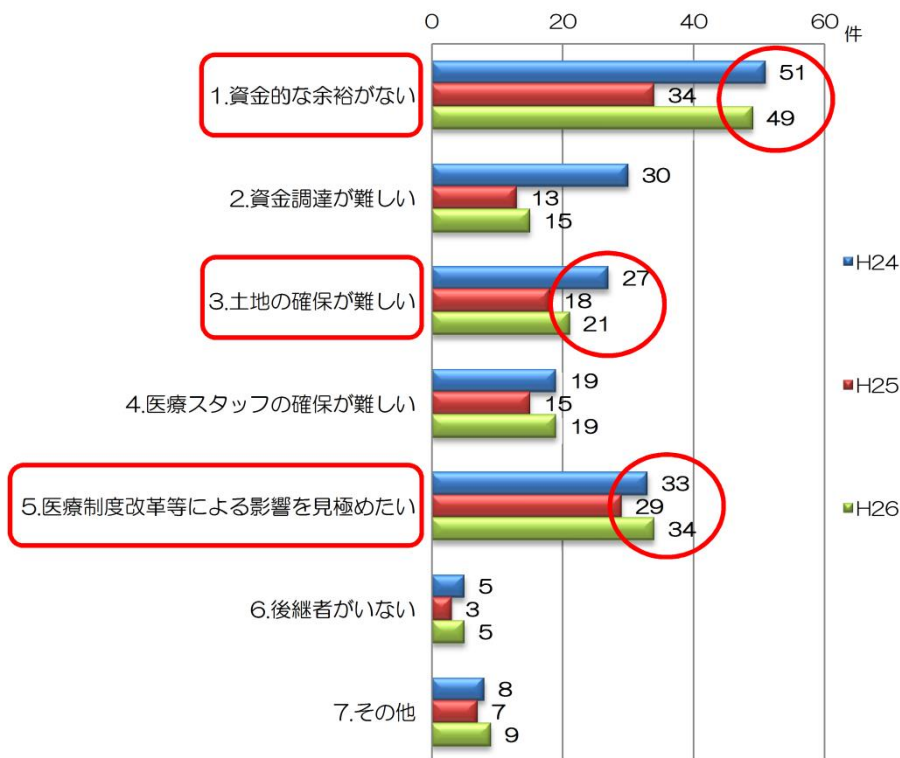
施設整備を予定していると回答した病院（319施設）の主な目的は、老朽化の解消や耐震化整備でした。また、地域医療構想を踏まえた病棟の機能分化が増加傾向にあります。



整備が必要だが出来ない理由（複数回答）

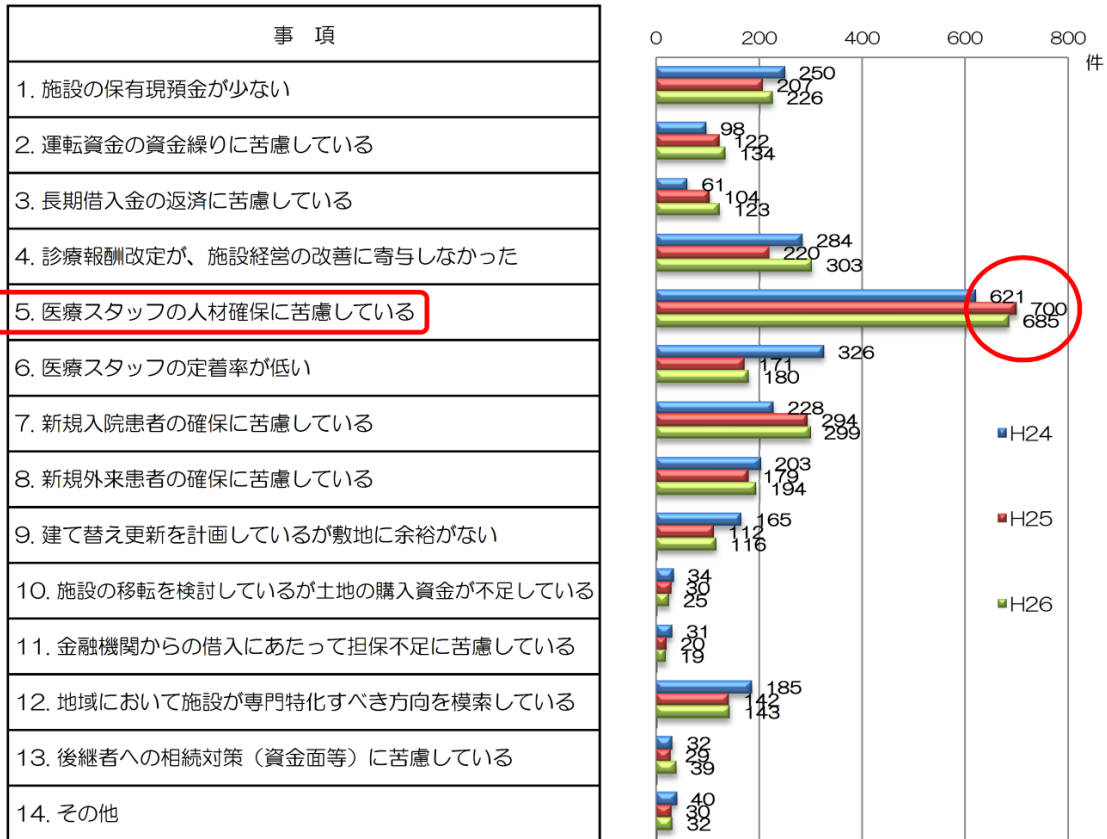
整備計画が必要だが出来ないと回答した病院（80施設）の主な理由は、資金的な余裕がない、医療制度改革等による影響を見極めたい、土地の確保が難しい、といったものでした。

さらに、医療スタッフの確保が難しいことも理由の一因になっています。

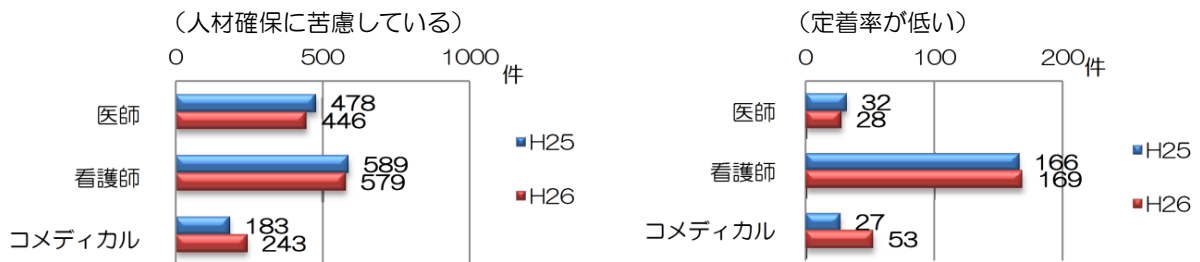


病院の運営課題（複数回答）

また、施設整備の動向に合わせて、病院の運営課題についても、次のとおり回答をいただきました。
 医療スタッフの人材確保に苦慮との回答が最も多く、次いで、診療報酬改定が経営改善に寄与しなかった、新規入院患者の確保に苦慮、と続いています。



医療スタッフの人材確保については、毎年、運営課題の上位にあり、詳細を確認したところ、次のような回答となっています。



このアンケート調査では、施設整備の動向の他、医療貸付事業に対する融資手続き等に関するご意見や満足度なども回答していただきました。

アンケートの結果については、お客さまのニーズを把握し、新しい優遇メニューを検討するための貴重なご意見とさせていただきます。

—以上—